



おくすり通信

No. 30 新しい便秘治療薬

こんにちは、薬剤科です。今回は市販されている身近な下剤についてご紹介しました。今回は新しい作用機序の便秘治療薬について説明していきます。

《グーフイス錠》

グーフイスは、腸管にある**胆汁酸トランスポーター**を阻害して、**胆汁酸の再吸収を抑制**します。胆汁酸が大腸に流入する量が増えることで、**水分分泌と消化管運動が促進**されます。この2つの作用で排便効果が期待できます。用法は1日1回「食前」となります。効果発現時間が**約5.2時間**と早いお薬です。

《アミティーザカプセル》

小腸の**クロライドチャンネル**に作用することで、腸管内への**腸液分泌を増やし、便を軟らかくして**排便を促します。用法は1日2回食後で、**腎臓が悪い人、高齢者にも使いやすい**お薬です。

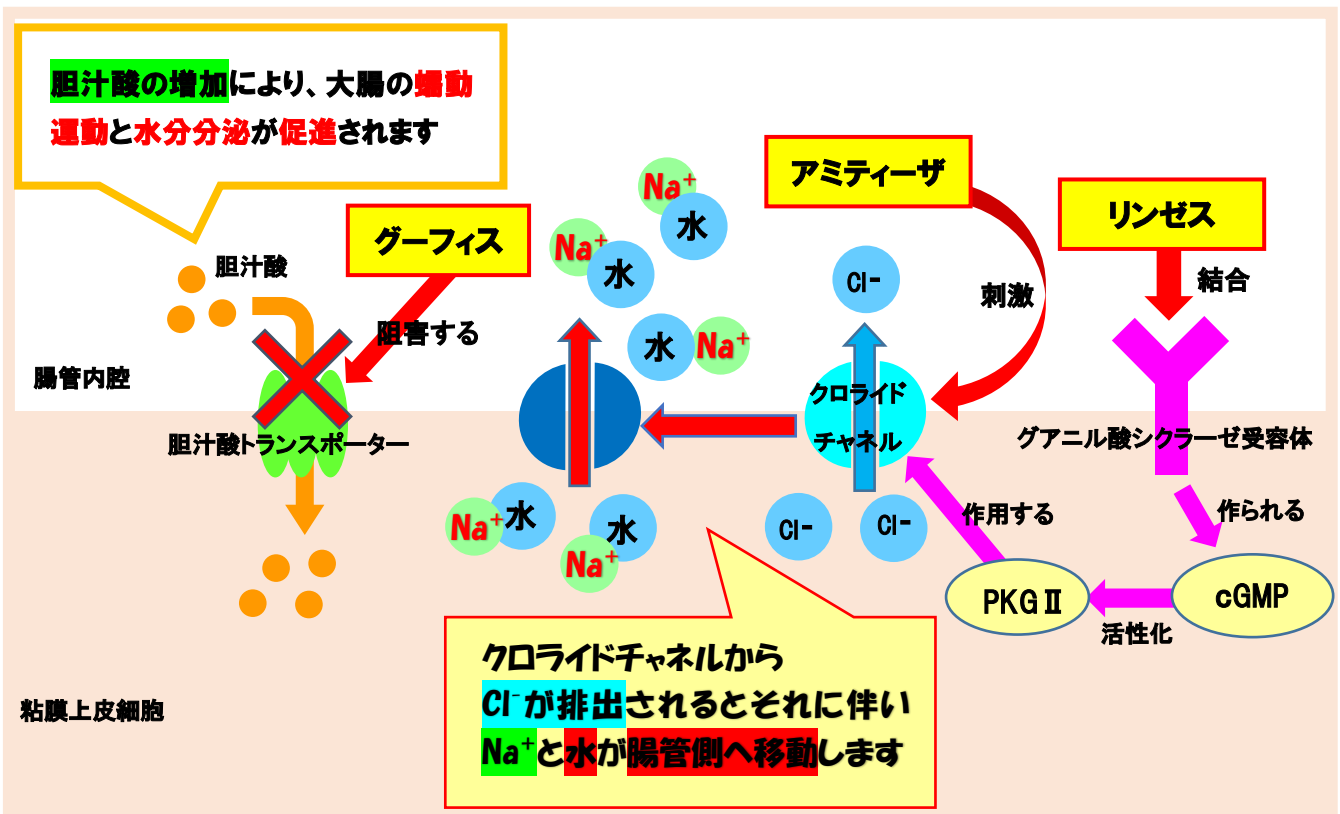
しかし、**妊婦には禁忌**となります。

《リンゼス錠》

腸粘膜にある**グアニル酸シクラーゼ受容体**に局所的に結合して**活性化**することで、**腸液分泌を増やし、便通を良く**します。また**お腹が痛くなりにくい**下剤です。用法は1日1回「食前」となります。

リンゼスがグアニル酸シクラーゼ受容体に結合すると、**cGMP**という物質が作られ、**PKG II**というタンパク質を活性化します。**PKG II**は**クロライドチャンネル**へ作用して、**Cl⁻を腸管側に排出**を促します。

これにより**腸管内への水分移動**が起きて、腸液分泌が増加します。



そのほか気になる点がございましたら、お気軽にご相談ください。